

教育
広報

あきる野の教育

2022(令和4)年3月1日 編集・発行 あきる野市教育委員会 〒197-0814 あきる野市二宮350 ☎042(558)1111(代)

深い郷土愛と豊かな心に包まれた 「あきる野っ子」の教育 ～ 世代を超えたあきる野ならではの学びの提供 ～



ICT を活用した授業 (草花小学校)



令和4年成人式 (秋川キララホール)

教育長就任にあたって

あきる野市教育委員会
教育長 丹治 充



この度、教育長という重責を担うに当たりまして、私市教育長が築かれてこられた教育方針を着実に継承しつつ、私自身の教育に対する思いの一端を記させていただきます。

現在、教育を取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化、情報通信技術の発展、国際化の進展など、急速に社会は変化し、人それぞれが持つ価値観も多種多様化しております。

新しい時代を見据えた学校教育の姿として、変化を前向きに受け止め、豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手として、予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を確実に育成することが「層求められています」。

この二ケ年の間、新型コロナウイルス感染症拡大という、これまで経験したことのない事態に直面し、教育現場も混乱いたしました。この様な未経験の事態にも対応できる力や生きる力の育成を重視した教育活動を展開しなければならぬと考えております。

そのためには、多様化する社会の中で、個々を認め合う人権教育や特別支援教育の重要性とさらには、いじめ・不登校への適切な対応を再認識すると共に、

子どもたちの豊かな心や健やかな体の育成と併せて、他者との関わりの中で、自己表現のできる力を育成してまいります。

また、「Society 5.0時代」に生きる子どもたちが、これからの社会を生きていく力を育むためには、ICTを適正かつ効果的に活用して学力の向上につなげると共にICT技術の進化とその運用によって、多様性を持つ子どもたちの可能性を大きく広げる教育に取り組んでまいります。

一方、生涯学習におきましては、「人生100年時代」という言葉が聞かれるように、今後は超高齢社会を迎えるといわれております。同じ時代を様々な世代が生きていく上では、年齢や性別、障がいの有無などに関わらず、生涯学び、活躍できる環境づくりに取り組んでいく必要があります。また、健康福祉の分野では健康寿命という言葉が聞かれます。この健康寿命を延ばすためには、生涯学習の果たす役割が極めて大きいと考えております。このことから、誰もが生涯を通じてスポーツ活動に親しみ、楽しむことのできる「ライフステージやライフスタイルに応じた活動の機会」を充実してまいります。

豊かな自然に恵まれ、人と人との深い結びつきと、すばら

新教育委員の紹介



令和3年11月26日付けで、岡部秀敏氏が就任しました。任期:令和3年11月26日から令和4年10月27日まで

第9号の発行に当たり、私の教育に対する思いの一端を記させていただきます。また、これからはあきる野の教育に関する情報を市民の皆様にお知らせしてまいります。引き続きご支援を賜りますようお願いを申し上げます。ご挨拶いたします。